

根知コミュニティ計画-Ⅲ

根知地区地域づくりプラン

胸を張って ずっと暮らし続けられる根知 を目指して



～目次～

| | | |
|----|----------------|-----|
| 1 | 根知地区の概要 | 1頁 |
| 2 | 根知地区の人口動態と推計 | |
| 3 | 根知地区地域づくり活動の歴史 | 2頁 |
| 4 | 根知のなりゆき未来ものがたり | 3頁 |
| 5 | 地域づくりプラン策定にあたり | |
| 6 | 根知の未来像 | 4頁 |
| 7 | 未来を拓く重点プロジェクト | 6頁 |
| 8 | プロジェクト推進計画 | 7頁 |
| 9 | 事業収支計画(5か年) | 10頁 |
| 10 | 推進体制 | |

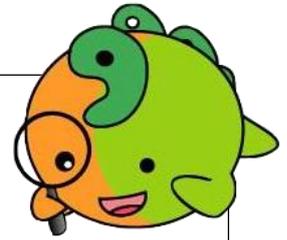
1 根知地区の概要

＝根知地区の基礎データ＝

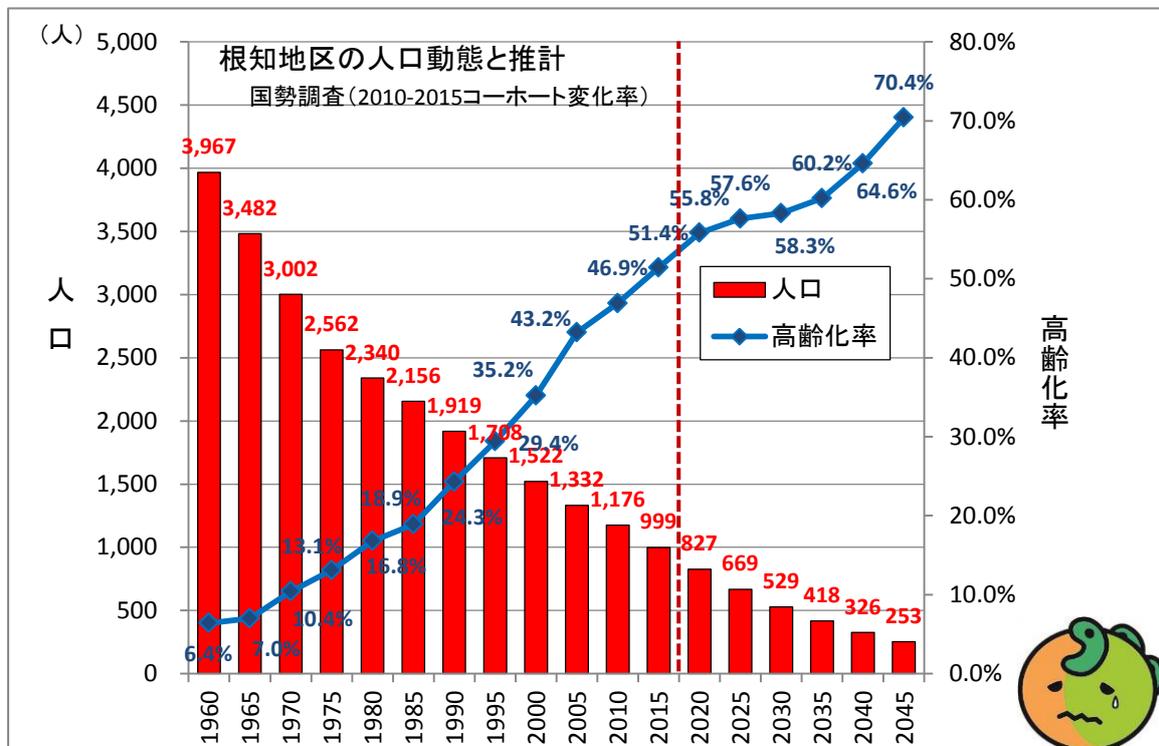
- 人口 1,023 人
- 世帯数 430 世帯
- 高齢化率 50.73 %
- 集落数 15 集落
(H28.4.1 住民基本台帳)

- 地区面積 約 5,079 ha
- 水田面積 約 162 ha
- 畑地面積 約 3 ha
(H27 農林業センサス)

根知地区の位置



2 根知地区の人口動態と推計



昭和 35 年(1960)で 4 千人の人口が、平成 27 年(2015)には 1 千人、4 分の 1 にまで減少しています。このままの推移が続くと 30 年後には、さらに 4 分の 1 の、250 人にまで減少し、高齢化率も 70%を超えると推計されます。



3 根知地区地域づくり活動の歴史

【第1期】村おこし創生期

<昭和62年12月：「根知むらおこしふるさと協会」設立>

根知地区コミュニティ計画
～世界一の夢を追いかけて～

過疎化が進む根知地区の将来を憂い、過疎化を止め、根知を元気にしていこうと、有志により昭和62年12月に発足しました。

根知地区コミュニティ計画を策定。「世界一の夢を追いかけて」をテーマに、ATK部、イベント部、特産部が、日本一の看板設置、花いっぱい運動、特産宅配便などの活動を展開し、市内外から高く評価されました。

【第2期】世代交代期

<平成15年7月：「いきいき根知恵の会」設立>

第二次根知地区コミュニティ計画
～こころのふるさと根知むらづくり構想～

ふるさと協会が10年を迎えた頃、世代交代が課題となり、平成12年から、第二次根知地区コミュニティ計画の策定作業に取り掛かりました。

平成14年3月に「こころのふるさと根知むらづくり構想」として、新たなコミュニティ計画が策定され、平成15年7月、ふるさと協会を発展的に解散、新たに「いきいき根知恵の会」が発足しました。物産販売、体験交流、花いっぱい、温泉活用のプロジェクトに分かれ、活動を展開してきました。

【第3期】未来創造期

<平成25年8月：「根知の未来を考える会」設立>

第三次根知地区コミュニティ計画（地域づくりプラン）

いよいよ、第3幕が開かれようとしています…

4 根知のなりゆき未来ものがたり

【2027年根知暮らし 緊急レポート】

糸魚川市根知地区は、2017年に1千人いた人口も700人を切り、高齢化率も60%に届こうとしている。そんな根知地区公民館に足を運んでみた。

和室では、児童数が20人を割った根知小学校の統廃合議論が交わされていた。一方、別室では、役員のなり手がない老人会の役員選考会が開かれ、隣室では、戸数が減り運営が難しくなった区の合併協議が行われていた。

外を見回せば、畑を中心に耕作放棄地の増加は止まらず、同時に山林の荒廃も進み、獣害で耕作をあきらめるといふ悪循環が起きているようだ。

事務室でお年寄り達が、「免許を返納したいけど、バスが少なくて買い物や通院に困るぞい、迷っとる。」などと茶飲み話に花を咲かせているのを聞きながら、少ない路線バスに乗って根知地区公民館を後に、帰路についた。

これは、このまま過ごした10年後の根知を、予測したフィクションです。今までも、地区を守り元気にしていくために、たくさんの方が活動してきたことはご存じのとおりです。それでも、10年後の根知には厳しい現実が待っているようです。ここらでもう一度根知を見つめなおし、未来を創造していくために、「地域づくりプラン」の策定に取り組みました。

5 地域づくりプラン策定にあたり

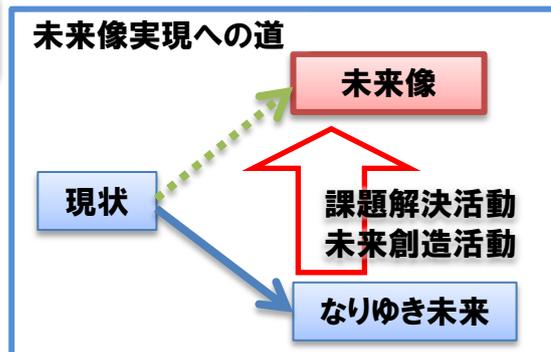
(1) 地域づくりプランとは

地域づくり協議会が主体となって策定する、地域づくり活動の基本となる計画です。現状と課題、地域づくりの方針及び方策、事業計画がその内容です。計画期間は5年とします。



(2) 地域づくりプラン策定の趣旨

根知が目指す未来像を明確にし、実現に向けた道筋と、根知の皆さんの役割を記しました。根知振興協議会から委嘱を受けた「根知の未来を考える会」が、計画策定作業を行いました。



6 根知の未来像

(1) 根知未来像アンケートから

将来どんな根知にしていきたいか「根知未来像」を描くため、「どんな根知になったらいいアンケート」を実施しました。平成26年7月13日ふるさと芸能祭、10月19日地区大運動会、10月26日根知小文化祭の会場で、参加者からアンケートに協力をいただきました。約200の回答を整理すると、以下の大切な言葉（キーワード）が見えてきました。

アンケートから浮かんだキーワード

- 今のままでいい
- 住み続けられる根知
このまま維持、暮らしを継続
- 生活環境を維持
- ホットな根知共和国

キーワードから、根知の未来に向けた根知地区の皆さんの思いは、非常に穏やかなものであることが分かってきました。

～キーワードを思いへ～

根知の未来へ…みんなの「思い」

- ◆ 自信を持って暮らす
- ◆ 豊かな心で暮らす
- ◆ のんびりと暮らす

思いを言葉に…
未来像へ

～思いを言葉につむぎます～

(2) みんなで目指す根知未来像

胸を張って ずっと暮らし続けられる根知

多くの方が、「このまま、のんびりと根知で暮らしていきたい。」「自然に囲まれ、心豊かな暮らしを続けたい。」「根知の豊かさに自信を持って暮らしたい。」と望んでいます。根知に自信と誇りをもって、堂々と豊かに暮らし続けられる根知にしよう、という思いを言葉につむぎ、目指す未来像としました。

(3) 未来像実現に向けた未来ストーリー

【2027年根知未来レポート】

糸魚川市根知地区は、40年以上も前から地域づくり活動が盛んな地区で、ここ10年で、人口減少が緩やかになっている。住民が生き生きと暮らしている根知地区を訪問してみた。

根知小学校では、小規模校の良さを売りに、地区と一体になった魅力ある教育環境づくりが評判となり児童数が増え、元気な声が校舎に響いている。公民館の一室では、老人会の役員会が開かれ、秋のお楽しみ企画を議題に盛り上がっており、コミュニティスペースでは、おばちゃん、おじちゃんが、お茶を飲みながら、井戸端会議に花を咲かせていた。地区内循環バスでここへ来て、路線バスを待っているようだ。

周りの農地では、農業体験も盛んで、中には就農へと結びつく体験者も出てきて、新しい農業経営の動きも見え始めている。

井戸端会議がにぎやかに続く路線バスに乗り、畔草刈りに汗を流す10人ほどの体験者を横目に、帰路についた。

これは、10年後、未来像が実現した根知を予測したフィクションです。こんな根知を目指して、地域づくりプランで、その道筋を記します。

次頁からは、未来像実現に向けた課題をテーマごとに分類し、課題解決策から行動計画を示します。課題解決と併行し、根知でより楽しく暮らすための未来創造型の活動についても、明記していきます。

7 未来を拓く重点プロジェクト

(1) 課題の抽出と整理

未来像実現に向けての課題を洗い出し、整理して、課題解決に立ち向かう重点推進事項から推進プロジェクトを設置します。



8 プロジェクト推進計画

プロジェクトが10年後に目指す姿、5年後の達成目標と事業計画を示します。

(1) 大地の恵みプロジェクト

【10年後に目指す姿】

◆みんなが、生き生きと野菜づくりをしている根知

【5年後の達成目標】

- ◇直売所と加工所が運営され、未来へのつながりができている。
- ◇大地の恵みを感じる農業体験ができている。

【5年間の事業計画】

(単位：千円)

| 事業名 | 事業内容 | 事業主体 | 事業費 | 自主財源 |
|----------------------|--------------------------|----------------------|-------|-------|
| ねち活プロジェクト トちゃんまいる | 直売所ねち KOYA 運営 加工所来音運営 | ねち活プロジェクト トちゃんまいる | 6,700 | 4,000 |
| 大地の恵み 農業体験 | 農業体験施設整備 農業体験実施 | 農業体験事業部 | 1,845 | 830 |

(2) 交流人口拡大プロジェクト

【10年後に目指す姿】

◆みんなが、根知の魅力が語れるようになっている根知

【5年後の達成目標】

- ◇根知観光ブランドが発信され、交流人口拡大ができている。
- ◇根知の宝探しが、続けてできている。

【5年間の事業計画】

(単位：千円)

| 事業名 | 事業内容 | 事業主体 | 事業費 | 自主財源 |
|-------------|----------------------------|------|-------|------|
| 根知観光プロモーション | 根知観光ブランドづくり 体験ツアー、フットパス | じろの会 | 1,275 | 835 |
| 根知ムラ再発見 | 宝探しツアー 歴史文化学習会 | じろの会 | 430 | 88 |

(3) 小さな拠点プロジェクト

【10年後に目指す姿】

◆みんなが、気軽に集まれる場がある根知

【5年後の達成目標】

- ◇誰もが、行きたい所へ楽に移動できるようになっている。
- ◇小さな拠点にみんなが集い、賑わいができている。

【5年間の事業計画】

(単位：千円)

| 事業名 | 事業内容 | 事業主体 | 事業費 | 自主財源 |
|---------|------------------------|-------------|-------|-------|
| 根知の足確保 | アンケート実施 地域内交通の検討、実施 | 小さな拠点プロジェクト | 5,150 | 3,460 |
| 小さな拠点作り | アンケート実施 拠点整備、運営 | 小さな拠点プロジェクト | 1,330 | 800 |

(4) 移住推進プロジェクト

【10年後に目指す姿】

◆みんなが、移住者と共に、元気で楽しんでいる根知

【5年後の達成目標】

- ◇実は知らない根知の魅力に気づき、発信し、移住者と楽しく暮らしている。
- ◇若い農業者がたくさん移住し、農地が守られている。

【5年間の事業計画】

(単位：千円)

| 事業名 | 事業内容 | 事業主体 | 事業費 | 自主財源 |
|---------------------|-----------------------|------------|-----|------|
| 地味にすごい根知 発信で移住推進 | 集落カルテ作成 移住相談員制度の確立 | 移住推進ネットワーク | 300 | 90 |
| 農業法人雇用促進 | 雇用促進グループ設置 若者の法人雇用 | 農業担い手協議会 | 720 | 250 |

(5) いーねち・ホッとプロジェクト

【10年後に目指す姿】

◆みんなが、地域の良さに自信を持って話している根知

【5年後の達成目標】

◇根知の出来事や行事予定を、みんなが共有できている。

【5年間の事業計画】

(単位：千円)

| 事業名 | 事業内容 | 事業主体 | 事業費 | 自主財源 |
|------------|------------------------------------|----------------|-------|------|
| 根知まるごと情報発信 | 根知ホッと通信発行 e-根知ホームページ 情報掲示板設置 | いーねち・ホッとプロジェクト | 1,150 | 0 |

(6) 未来へつなぐプロジェクト

【10年後に目指す姿】

◆みんなが、活発に交流し、未来につながっている根知

【5年後の達成目標】

◇地区運動会が各組応援団で盛り上がり、楽しんでいる。

◇エンジョイイベントを開催している。

【5年間の事業計画】

(単位：千円)

| 事業名 | 事業内容 | 事業主体 | 事業費 | 自主財源 |
|-------------|---|--------|-------|-------|
| 運動会応援合戦しよう | 赤組応援練習体験 各組応援団の応援合戦 | 赤白青組 | 210 | 0 |
| エンジョイプロジェクト | 応援団パフォーマンス 芸術の里・旧根知小活用 U30 根知小同窓会 | 各実行委員会 | 5,300 | 3,050 |

9 事業収支計画（5か年）

各事業の運営は、将来的な自立を目指します。そのため、補助金は事業の初期費用に充て、運用費用は利用料や参加費等の自主財源により確保していきます。

根知地域づくりプラン 事業収支計画

【収入】

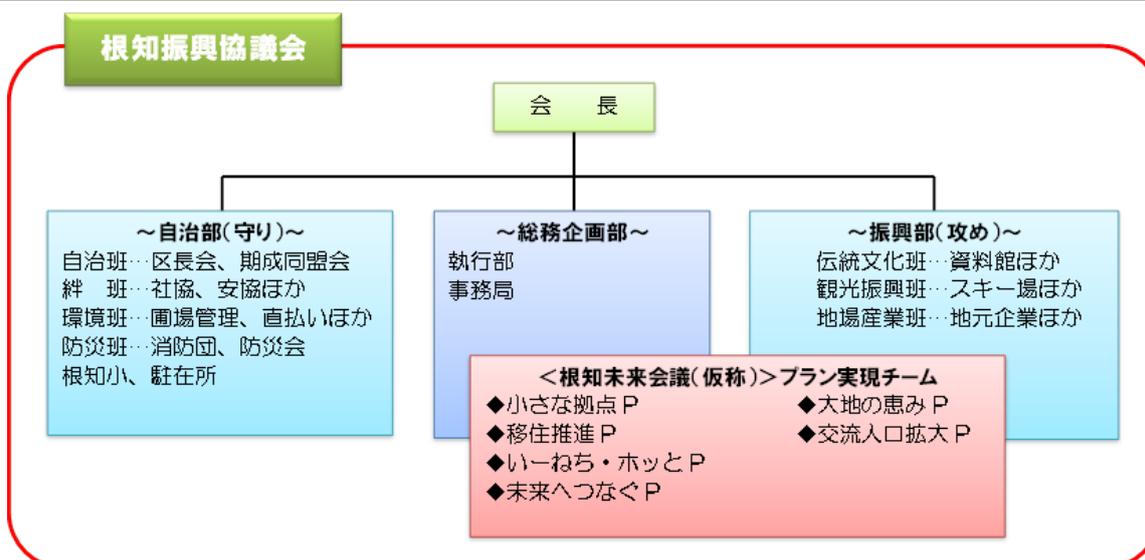
(単位:千円)

| 費 目 | | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 | 合 計 |
|----------------|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 事業収入 (自主財源) | 大地の恵み | 450 | 620 | 1,320 | 1,220 | 1,220 | 4,830 |
| | 交流人口拡大 | 78 | 185 | 220 | 220 | 220 | 923 |
| | 小さな拠点 | 20 | 140 | 500 | 1,100 | 2,500 | 4,260 |
| | 移住推進 | 50 | 140 | 50 | 50 | 50 | 340 |
| | いーねち・ホッと | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 未来へつなぐ | 430 | 480 | 480 | 580 | 1,080 | 3,050 |
| 補助金 | 地域づくり活動支援事業 | 557 | 550 | 550 | 550 | 550 | 2,757 |
| | コミュニティ活動推進事業 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | 300 |
| | その他個別補助金計 | 1,390 | 1,840 | 2,200 | 1,100 | 1,000 | 7,530 |
| 繰入金 | 振興協議会から | 0 | 40 | 40 | 40 | 40 | 160 |
| 雑入 | 寄付金(スキー場アルミ缶) | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | 300 |
| | 総会等個人負担金 | 20 | 25 | 25 | 25 | 25 | 120 |
| 合 計 | | 3,115 | 4,140 | 5,505 | 5,005 | 6,805 | 24,570 |

【支出】

| 費 目 | | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 | 合 計 |
|-----|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 事業費 | 大地の恵み(直売所事業等) | 1,595 | 1,900 | 2,350 | 1,350 | 1,350 | 8,545 |
| | 交流人口拡大(体験事業費等) | 270 | 340 | 315 | 390 | 390 | 1,705 |
| | 小さな拠点(調査、制度研究) | 250 | 150 | 760 | 1,960 | 3,360 | 6,480 |
| | 移住推進(組織設立運営) | 110 | 200 | 290 | 210 | 210 | 1,020 |
| | いーねち・ホッと(通信発行等) | 110 | 310 | 110 | 310 | 310 | 1,150 |
| | 未来へつなぐ(U30同窓会等) | 750 | 1,210 | 1,650 | 750 | 1,150 | 5,510 |
| 事務費 | 総会費、事務費、コミ協会費 | 15 | 15 | 15 | 20 | 20 | 85 |
| | 市コミュニティ協会々費 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 75 |
| 合 計 | | 3,115 | 4,140 | 5,505 | 5,005 | 6,805 | 24,570 |

10 推進体制



プラン作成のみちのい

- 平成 25 年 8 月 根知の未来を考える会設立～スタート～
以降、計画づくりワークショップ 35 回開催
- 平成 25～26 年 根知の宝探しツアー 5 回実施
- 平成 26 年 5 月 ファーマーズマーケット開店 以降、5 回実施
- 平成 26 年 12 月 公民館大会で根知の未来像決定
- 平成 27 年 6 月 根知カフェオープン
- 平成 27 年 12 月 中間報告～地域づくりプロジェクト設置
- 平成 28 年 1 月 各プロジェクト会議スタート 以降計 23 回開催
- 平成 28 年 4 月 根知ホッと通信発行（毎月 25 日）
- 平成 28 年 8 月 U30 根知小同窓会開催
- 平成 28 年 12 月 プラン中間報告、意見交換
- 平成 29 年 6 月 プラン原案完成、振興協議会審議、市審査会

～完成～



プラン作成の仲間たち～根知の未来を考える会～